

利用する前は...



【困っていることは・・・】

食事をしっかりとっているかわからない
訪問介護では、毎日複数回の訪問は難しい。

排泄の習慣づけが必要で、
トイレ誘導は欠かせない。

訪問介護では、毎日複数回の訪問は難しい。



本人の声

- ◎自分で出来ることはしているけど、困ったときは助けてほしい。
- ◎最近、時々どうしたらいいかわからなくなるときがあり、一人していると不安だ。

家族の声

- ◎仕事から帰ると夕食を食べずに待っていることがあり、仕事でも食事をとっているのか不安だ。
- ◎夜間の排泄失敗で睡眠時間がとれない時があり困っている。



定期巡回・随時対応サービスの 利用方法



- ① 担当ケアマネジャーに利用したい旨連絡
- ② 受け入れ可能かどうか利用調整依頼
- ③ 受け入れ可能の回答及びケアプランへの位置づけ
- ④ 定期巡回・随時対応サービス事業所と利用契約等
- ⑤ アセスメント実施・計画作成・サービス提供



分かりやすい

定期巡回サービス制度説明 アニメーション公開中

← QRコードからアクセスください



発行：兵庫あんしんネット24

お問合せ：info@hyogo-anshinnet24.com

当会HP



兵庫県委託事業（定期巡回・随時対応サービス充実支援事業）により作成

認知症対応版

介護保険・地域密着型サービス 定期巡回・随時対応型 訪問介護看護

定期巡回・
随時対応サービス
ってなんだろう？



認知症で悩んでいるあなた・ご家族へ
『一緒に暮らし続けたい』をお手伝いします。

定期巡回・随時対応型訪問介護看護のサービス

定期巡回サービス (ヘルパーの定期訪問)

1日1回から複数回、定期的にヘルパーが訪問します。



随時対応サービス (つながる安心)

不安になったらいつでも相談できます。



随時訪問サービス (いざという時も安心)

急な事態にもヘルパーが訪問します。



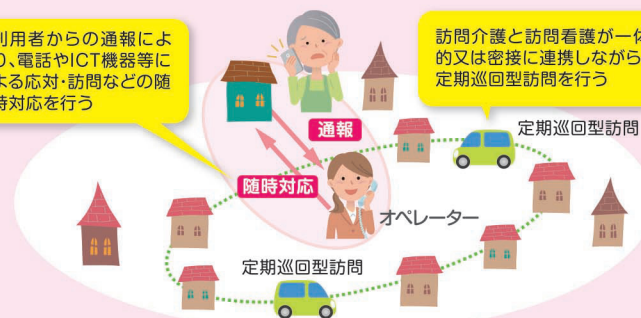
訪問看護サービス (看護ニーズにも対応)

必要に応じて看護職員が訪問します。



利用者からの通報により、電話やICT機器等による応対・訪問などの随時対応を行う

訪問介護と訪問看護が一体的又は密接に連携しながら、定期巡回型訪問を行う



定期巡回・ 随時対応サービスを

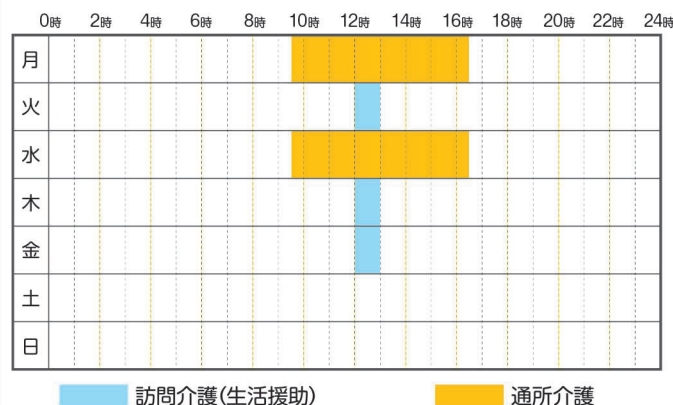
利用してお互いの生活を守り、 無理のない生活を続けられます。

基本情報

生活:女性・娘夫婦と同居・軽度の認知症有り

経過:社交的な性格で、友人がいる週2回のデイサービスや近隣の友人の訪問が楽しみ。
認知症の影響からか、家事は自分できなくなり、排泄も間に合わず失敗することが多くなった。

★定期巡回・随時対応サービス利用前のサービス状況



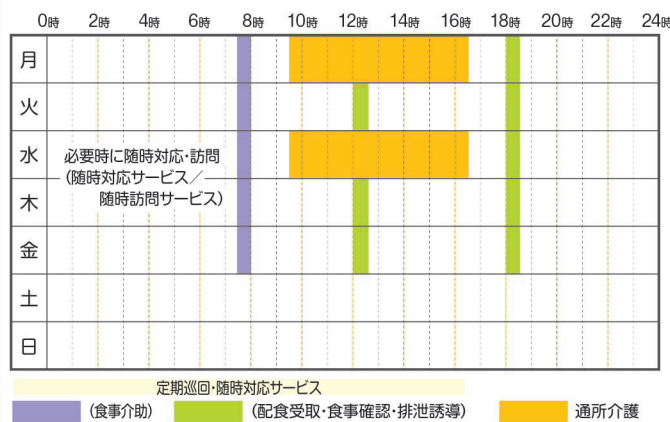
状況

本人 できることは自分でしたいが、不安があり、結果としてできないことが多い。

生活 排泄の失敗時に汚物を隠すなど排泄に関して不安が増してきている。訪問日を忘れてしまい居宅に入れないことがある。



★定期巡回・随時対応サービス利用後のサービス状況



【良くなったことは……】

配食サービス利用による欠食の防止

昼夕食に配食サービスを利用することで、欠食がなくなった。

朝昼夜のトイレ誘導による排泄習慣

朝昼夜の食事時に排泄誘導することにより、定期的な排泄習慣を確保し、夜しっかりと寝ることができるようになった。



本人の声

- ◎毎日顔見知りのヘルパーさんがきてくれるので安心して家に入ってもらえる。
- ◎トイレも誘導してくれるし、万一失敗しても、決められた時間にくてくれるから安心して待てる。
- ◎大好きなデイサービスも続けられるし、毎日楽しく過ごせる。



家族の声

- ◎生活リズムができて、夜起こされることが少なくなってよかった。
- ◎デイサービスのない日中も安心して仕事に行けるようになった。
- ◎本人の不安が少なくなったようで、家族と話す機会も多くなった。



事業所から 定期巡回・随時対応サービスは、利用者一人一人に寄り添い、その人に合ったケアを提供することで、住み慣れたご自宅での生活を一緒になって作っていくサービスです。
困ってからではなく、在宅生活ができていいるうちから利用することで、できるだけ今までと変わらず生活できるよう支えていきます。

